

市長マニフェスト（教育委員会関係事業）

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

提案内容	所管課	現状や課題
御油生涯学習センターの建替整備	生涯学習課	<p>「豊川市公民館・生涯学習会館再編方針」・「豊川市公民館営繕計画」（いずれも令和元年度策定）において、今後10年以内に建替えることとし、建設予定地は今後数年以内に決めることとしている。地元や関係者等との調整の結果、令和4年度に建設予定地を移転予定の現ひまわり農協御油支店用地及び隣接の空き家用地に決定した。両計画では整備面積は延床900㎡であるが、建設予定地面積等の制限により延床700㎡に縮減して整備を行う。</p> <p>施設の老朽化が著しいため早期の整備着手が必要であり、整備にあたっては建物の嵩上げ対策や日当たり等の住環境対策を検討するとともに、貸部屋等の機能面について市民参加型のワークショップを行い検討する必要がある。</p>
赤坂の舞台始め地域伝統芸能の活性化	生涯学習課	<p>赤坂の舞台伝統芸能支援事業として、金沢歌舞伎を始めとする無形民俗文化財や、一宮南部小学校の歌舞伎クラブ、赤坂小学校児童による和太鼓演奏などの伝統芸能の活動の場の提供及び地域間交流を長年にわたり実施している。今年度は新型コロナウイルスの影響で中止していた小屋掛けを4年ぶりに再開し、赤坂の舞台を会場に実施しており、次年度以降も継続予定である。</p> <p>無形民俗文化財は主に祭礼などで披露しているものの、高齢化や活動機会の減少により技術の伝承等が困難となり、活動が低迷している団体もある。</p> <p>地域の祭礼行事については、4年ぶりの再開にあたり簡素化を図らざるを得なかった。</p> <p>地域伝統芸能の用具は高価なものが多く、購入・修繕費の資金集めに苦慮している。</p> <p>高齢化、後継者不足、活動機会の減少、用具の維持管理が課題となっており、地域伝統芸能を次世代へ継承していくための各種支援が必要である。</p>

市長マニフェスト（教育委員会関係事業）

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

提案内容	所管課	現状や課題
スポーツ・文化活動 激励金の増額	スポーツ課	<p>○スポーツ活動への激励金（スポーツ課：豊川市スポーツ振興基金事業）</p> <p>(1) 中学校運動部活動大会出場奨励金支給事業 (2) 全国大会等出場奨励金支給事業 (3) スポーツイベント開催助成金支給事業</p> <p>上記に出場する市内個人や団体に対して、1名につき5千円（団体にあっては10万円を限度）の奨励金を交付している。また、上記以外にも、その活動が特に顕著であると市長が認める個人又は学校・団体については、市長が別に定める額を交付できる規定となっている。</p> <p>制度を改正する場合は、近隣他市の動向を踏まえ、また、文化活動分と足並みを揃えて対応する必要がある。</p>
	庶務課	<p>○文化活動への激励金（庶務課：豊川市教育振興基金事業）</p> <p>(1) 全国中学校文化連盟又は公益社団法人全国高等学校文化連盟が主催する全国大会 (2) 文部科学省又は文化庁が主催し、又は共催する全国大会</p> <p>上記に出場する市内個人や団体に対して、1名につき5千円（団体にあっては10万円を限度）の奨励金を交付している。また、上記以外にも、その活動が特に顕著であると市長が認める個人又は学校・団体については、市長が別に定める額を交付できる規定となっている。</p> <p>制度を改正する場合は、スポーツ活動分と足並みを揃えて対応する必要がある。</p>

市長マニフェスト（教育委員会関係事業）

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

提案内容	所管課	現状や課題
リレーマラソン等おもてなし事業の拡充（継続）	スポーツ課	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症により中止を余儀なくされたが、令和4年度は感染症防止対策を講じてリレーマラソン、シティマラソン大会ともにゲストランナーを招聘して開催できた。また、豊川産農産物PRコーナーやおもてなしブースにおける豊川いなり寿司教室も実施することができた。三遠ネオフェニックス豊川市DAYにおいては、おもてなしブースを出展し、市政PRコーナーにて豊川いなり寿司の配布等することができた。引き続き、ゲストランナーの招聘、豊川産農産物のPR、おもてなしブース等の事業を拡充し、交流・関係人口の増加を図っていく必要がある。

市長マニフェスト（教育委員会関係事業）

基本理念2 子育て豊川応援団

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

提案内容	所管課	現状や課題
小坂井中学校整備事業	庶務課	<p>昭和29年に建設された校舎を含むなど老朽化が進むとともに、校舎と体育館が市道を挟んで分断された施設配置となっているなど、学校施設の安全性や利用面などで課題を抱えている。</p> <p>また、少子化・人口減少の中、将来的な生徒数の見込みを踏まえて、施設の適正規模について検討が必要なことに加え、資材高騰などによる工事費の上昇が見込まれるため、建物配置や平面計画の見直しなどによる費用抑制の検討が必要である。</p>
小中学校特別教室空調設備設置事業	庶務課	<p>市内の小中学校が保有する特別教室483室のうち設置済みが163室、設置率33.7%であって、図書室、コンピューター室は全校で設置済み、音楽室は部活動による近隣への騒音対策も兼ねて中学校全校で設置済みとなっている。</p> <p>今後、小学校の音楽室や理科室、図工室、家庭科室などに設置していくにあたり、受変電設備の増設等が必要になるなどに加え、整備費として15億円以上かかると想定しているが、児童生徒が健康を保持し、集中して学習に取り組むことができるよう、設置を進めていく必要がある。</p>
教員働き方改革推進のため部活動外部指導者等の拡充	学校教育課	<p>令和5年10月に部活動検討委員会を開催、今後の休日部活動の在り方について検討を行った。この場で、関係諸団体との連携による指導者確保が最重要であることと、対象となる子ども・保護者・教員のニーズを探る必要性について話し合った。</p> <p>令和6年度以降は、指導者の人数又は活動時間を増やす、報酬額を上げるなどの対応をすべきと考える。</p> <p>加えて、発達障害などの問題を抱える子どもが在籍する学級へ学級運営支援員を配置し、学級運営の正常化を図っているが、教職員の負担を軽減する取り組みとして4月任用者を増やす又は増員を目指すことが重要である。</p>

市長マニフェスト（教育委員会関係事業）

基本理念2 子育て豊川応援団

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

提案内容	所管課	現状や課題
<p>スクールソーシャルワーカーの増員</p>	<p>学校教育課</p>	<p>現状1名で数多くの課題に当たっている。令和4年度は金屋中学校、令和5年度は小坂井中学校を拠点校として、要請があれば市内を巡回し、学校や家庭訪問を実施して面談を行っている。令和4年度は市内36校中14校で対応し、支援対象児童生徒数は、小学生24人、中学生9人で、そのうち28人は継続支援をしている。また、児童生徒や保護者への直接的な支援の他に、教職員や保護者を対象とした研修会や講演会も22回実施した。</p> <p>不登校や暴力行為、いじめなどの問題行動を起こす児童生徒の背景には、心の問題だけでなく、家庭や生活環境も複雑に絡まっており、子どもたちの環境と直接関わり合いながら問題解決を目指すスクールソーシャルワーカーの役割は今後ますます重要となってくることから、増員について検討していく。</p>
<p>地産地消の推進と学校給食費据え置き（物価高騰分公費負担）</p>	<p>学校給食課</p>	<p>令和4、5年度においては、物価高騰に伴う学校給食の賄材料費増額分を公費負担（臨時交付金の活用）とし、保護者負担となる学校給食費は据え置きとしている。（公費負担額：小学校270円/食のうち25円、中学校305円/食のうち30円※令和5年7月～）</p> <p>令和6年度における必要な賄材料費の試算結果では小280円/食、中315円/食となっており、引き続き学校給食費を据え置きとした場合の公費負担額は小9,959人×189回×35円/回+中5,272人×188回×40円/回÷105,524千円となるが、子育て世帯の支援を図るとともに、地元産農産物を積極的に使用することで地産地消率（令和4年度豊川産12.5%）の維持向上に努める必要がある。</p>

市長マニフェスト（教育委員会関係事業）

基本理念3 市民と創る協働と健全財政のまち

戦略8 市民の主体的な活動を応援

提案内容	所管課	現状や課題
消防団員・交通指導隊員等の処遇改善（継続）	スポーツ課	スポーツ推進委員は、市のスポーツ事業への協力や地域でのスポーツ振興事業の企画運営や普及活動などにより、地域のスポーツ振興を担っています。金額を改正する場合、その役割に対して適切かどうか、近隣他市の動向を踏まえ、検討する必要がある。